~~一、「心の書き」~~

三、ひとやすみ

一、感想、創作集、「心のあかし」を実業の日本社から出版[illegible]~~当時女学生でありました~~。

大正十年の秋でした。

二、はじめての本には、特別のなつかしみがございます。あれからすぐに詩を集めた時のうれしさを、今でも覚えて居ります。其の体裁組方用紙と云ふやうな事には、一つも注文を挟まなかつたのも、当時女学生だつたのでせう。